

仕 様 書			
契約No	件名	2025008456	消防職員用被服(冬服一式)の購入について
業 種	2007衣料・洋品雑貨		
納入期限	令和7年12月19日(金)		
納入場所	・ 浜松市消防局消防総務課 浜松市中央区下池川町19番1号		
	・ 浜松市中消防署 浜松市中央区下池川町19番1号		
	・ 浜松市東消防署 浜松市中央区篠ヶ瀬町1374番地		
	・ 浜松市西消防署 浜松市中央区馬郡町4074番地の1		
	・ 浜松市南消防署 浜松市中央区森田町98番地		
	・ 浜松市北消防署 浜松市浜名区細江町三和2173番地の7		
	・ 浜松市浜北消防署 浜松市浜名区西美蘭58番地		
	・ 浜松市天竜消防署 浜松市天竜区二俣町二俣481番地		
目 的	消防職員被服貸与規則に基づき、職員へ貸与する冬服一式(バンド含む)を購入するもの		
品名規格	① 男性職員用冬服上衣 ⑤ 男性職員用制帽 ⑨ 消防職員用制服用バンド ② 男性職員用冬服ズボン ⑥ 女性職員用制帽 ③ 女性職員用冬服上衣 ⑦ 消防職員用ネクタイ ④ 女性職員用冬服ズボン ⑧ 消防職員用儀式用白手袋		
数 量	①11着 ②13本 ③1着 ④1本 ⑤26個 ⑥1個 ⑦49本 ⑧132双 ⑨99本		
同等品	否		
	(定義)同等品とは、規格・品質・性能等が例示品と同等以上であるものをいう。		
条 件 及び 注意事項	・ 納品前に検品チェックを行うこと。 ・ 納品は担当職員立会いのもと、実施すること。 ・ 契約不適合があった場合は代替品を用意すること。 ・ 規格は、別添の仕様書を参照すること。 ・ 各数量のサイズ内訳及び各納入場所への納入数は、落札業者あて別途指示する。 ・ 落札者は、契約後、速やかに「原反引受証明書」及び「品質証明書」を消防総務課に提出すること。		
お問い合わせ先	消防局 消防総務課 財務グループ 担当 黒川 礼衣良		
	TEL	053-475-7523	FAX 050-3537-8955

消 防 職 員 用 冬 服 一 式 仕 様 書

浜 松 市

第1 総則

この仕様書は、浜松市において購入する消防職員用冬服一式（以下「冬服一式」という。）について定める。冬服一式とは、男性職員用冬服、女性職員用冬服、男性職員用制帽、女性職員用制帽、消防職員用ネクタイ及び消防職員用儀式用白手袋のことをいう。この冬服一式に使用する材料は、全般にわたって十分検査が実施され、この仕様書のすべてを満たすものでなければならない。

第2 補則

- 1 仕様及び縫製その他細部について、必要のあるときまたは疑問が生じた時は、速やかに市及び消防総務課へ連絡し指示を受けること。ただし、内容については、消防総務課の解釈による。
- 2 仕様に明記、または指示がなくても、縫製作業などにおいて、当然必要なことは良心的に行うこと。
- 3 きせかけによる出張採寸を行う場合は、消防総務課の指示に従うこと。
- 4 受注者は、必ず縫製作業中、半製品の検査及び指示を充分に行い、仕様書に適合するように努めること。
- 5 納品は糸くずなどを取り、丁寧にプレス仕上げをし、各個人ごとに1着ずつ袋に入れ納入すること。
- 6 当冬服一式は、グリーン購入法対象製品及び回収・再利用対象製品であること。
- 7 この外、契約に関わる事項については、当市の定める規定事項による。

男性消防職員用冬服仕様書

1 上衣

(1) 材料

区分	仕 様 (規 格)		用 途
主材料	表地	別紙1	前身頃、後身頃、見返し、上衿、地衿、胸箱ポケット口布及び向こう布、腰雨蓋の表及び片玉縁布、階級章台、袖
	裏地		前身頃、後身頃、袖裏、腰ポケット雨蓋及び向こう布、内ポケット口布及び雨蓋及び向当布 つり布
	綿接着芯		前身頃、見返し、上衿先 胸箱ポケット口布、腰雨蓋、つり布、袖口、内ポケット口布
	肩綿・衿綿		肩台 (衿綿を含んで厚さ13mm標準)
	衿芯		地衿
	袋地		胸箱ポケット袋布、腰ポケット袋布、内ポケット袋布
	増芯	芯地 フェルト	胸上部
	釦	金足付き釦	径 20mm 前身 6個
		練釦	径 15mm つり釦 1個、内ポケット 1個
	小附属	袖章	左右上袖
		エンブレム	右袖
		片布	右内ポケット下部
		品質表示	片布の下端
		サイズシール	衿下中央
		衿吊り	衿みつ中央
副材料	綿テープ	幅10mm以上	返り衿伸び止め (ストレートテープ) 袖ぐり (端打ちテープも可) (ハーフバイヤス、ストレートテープも可) 衿みつ (ハーフバイヤス)
	縫い糸	ポリエステル (フィラメント)	50番 本縫い、ルイス縫い
		(パン)	30番 まつり、穴かがり
			8番 釦付け、(手付け用)
			60番 オーバーロック
			30番～50番 釦付け (機械付け用)

(2) 構造の概要

上衣 (全般図参照)

(ア) 全般

背裏仕立て、ケン衿、ダブル左前2つ掛け6つ釦、左胸箱ポケット、腰雨蓋付き片玉縁ポケット、左右の袖に袖章、右袖にエンブレム付き、0.5cmステッチかけ。

(イ) 前身頃

ダブル左前2つ掛け6つ釦、胸くせ付き、脇切り替え式、左胸に箱ポケットを付ける。左右腰に雨蓋付き片玉縁ポケットを付ける。右胸に階級章台を付ける。

(ウ) 袖

二枚袖とする。右袖にエンブレムを縫い付ける。袖章（縞織線）は左右の山袖に袖口と平行に縫い付ける。（エンブレムは消防局より支給する。）

(エ) 釦位置

前釦の配列は、第一釦は返り衿下のところに付け、第二釦は等間隔に付ける。前端より2cmと12cmのところに付け、打ち合せは14cmとする。飾り釦は左右第一釦の斜め上に付ける。

(3) 条件

(ア) 針数（3cm間に表面に表れた糸数）

地縫	15針	標準
ステッチ	15針	標準
オーバーロック	9針	標準
手まつり	10針	標準

(イ) ステッチ（飾りミシン）

衿、身頃前端、腰雨蓋、胸箱ポケットに0.5cmのステッチをかける。

(ウ) 縫い代

1cm以上（背中心2cm）

(エ) 穴かがり

穴の大きさは、釦の大きさに合わせてかがり糸が布から抜けないようにする。

鳩目穴かんぬき止め 前穴2個、内ポケット1個、つり布1個

鳩目穴なし眠り穴 左右ケン衿1個ずつ

(オ) かんぬき（機械かんぬき及びミシンかんぬき）

ミシンかんぬき、腰ポケット口両端、内ポケット口両端

(カ) 釦付け

前釦6個、内ポケット1個、つり布1個、2本の糸で1つの穴に、足付きは3回以上、その他は2回以上通し3回以上の根巻をし、糸止めを完全にする。機械付けの場合は、手付けと同程度の強度とする。

(キ) 縫製

ミシンの糸調子を整え、つれ、たるみ、しわ、目飛びのないようにし又返し針を充分に行う。ステッチも縫い幅は一定に仕上げ、着用及び洗濯等に充分にたえるようにし、優美な仕上げとする。

(ク) 裁断

布目を正しく合わせ、型入れは、型紙どおりに行うものとする。

よこ地のもの 上衿

ポケット及び雨蓋は身頃に合わせる。一着の各裁断片に番号を付けて合わせる。裏地及び他の副資材も同様とする。

(ケ) 仕上げ及び検品

糸屑、汚れ、混入物、寸法、外観等を入念に検査し、又丁寧にプレスをする。

(コ) 寸法

出来上がり寸法表のとおりとする。（別表1）

(4) 縫製

区 分	縫 製 概 要
衿及び衿付け	地衿は中心を縫い割り、バイヤスの衿芯を貼り、折り返し線に一条のミシン縫いをし、上衿両端部に芯を貼る。地衿付けは、地縫いとする。上衿は見返しと地縫いをし、衿ぐりは縫い割り、とじを入れる。衿幅は中央で6.5cm、衿先で3.5cmとし、衿周りには幅0.5cmのステッチをかける。衿先とラペルをループ止めする。(別図1、2参照)
衿吊り	衿吊りテープを衿中央に、両端を内側へ折り、返し針を充分にして縫い付ける。長さは5cmとする。
前身頃	前身頃前部全面に芯を貼り、胸ダーツは片倒しとし、脇切り替えは縫い割りとする。増芯は肩幅いっぱいに入れ、第一釦の下部までとし、身頃に馴染ませて、しっかりととじ付ける。
胸増芯	バス芯及びフェルトで、肩くせをとり、型くずれのないようにし、刺し方は、千鳥ミシン刺しとし、返し線にストレートの接着テープを縫い付け、ルイスミシン縫いをする。
胸ポケット	左胸に口布長さ11cm、深さ15cmの箱ポケットを付ける。口布2.5cm幅に芯を貼り、上端に巾0.5cmの飾りミシンを掛け、両端に端ミシンと巾0.5cmの飾りミシンで縫い付ける。消防手帳が容易に納まること。(別図3参照)
内ポケット袋	右に口長さ15cm、深さ20cmの口布が裏地の両玉縁のポケットを作る。右に三角雨蓋を付け、口の両端にミシンかんぬきを入れ、袋の下部は見返し縫い代に止める。(別図4参照)
内ポケット雨蓋	裏地を二つ折りにし、幅5cm上がりの三角に折りあげ、折り目を合わせた方を表とし、中央に穴をかがる。(別図4参照)
片 布	右内ポケット下部に縫い付ける。
品質表示	片布の下端に挟み縫いする。
サイズ表示	衿みつ中央に縫い付ける。
見返し	全面に芯を貼る。幅は上端で4cm、裾で12cm以上とする。
腰ポケット	表雨蓋は芯を貼り、裏は裏地を使用し、長さ16cm又は16.5cm、幅は6cmとする。上部を除く周囲に0.5cmのステッチをかける。 左右に口長16cm、深さ20cmの口布が表地の片玉縁のポケットをつくる。雨蓋を付け、口の両端にミシンかんぬきを入れる。(別図5参照)
裏	背裏仕立とし、前身頃は胸ダーツを地縫いし片倒しする。背裏の裾を1.5cm巾の三つ折りに折り、ステッチを掛ける。背中心を地縫いし、1cmのきせをかけ、ループで止める。
背・脇・裾	衿みつ部にテープを貼り、背中心、裾、脇の裁ち端をルイス始末し、背中心縫い代は2cmとり地縫い割りとする。脇縫い代も1.3cmとり地縫い割りとする。裾は4cm上げまつり縫いをする。
返し止め縫い	衿付けから返し線に沿って12cm下まで前身頃と見返しを通して止め縫いをする。

肩縫い	表地は縫い割り、裏地は地縫い片倒しとする。
つり布	先端が剣型3cm巾のつり布表面に芯を貼り、左袖付けに挟み込み、縫い付ける。
階級章の取り付け台	右胸ポケットより1. 5cm上部に、階級章取付用面ファスナー（凹面、表地同系色）を縫い付ける。大きさは2. 5cm×4cmとする。（別図1参照）
袖	袖口の折り返しに芯を張り、袖章を左右の山袖に袖口より平行に10cmの位置を袖章の下端として付ける。 エンブレムを右袖肩口より8cm下方位置を頭にして下側中央部に熱着し縫い付けること。袖口は表地を4cm折り返し裏地をのせて2cmで地縫いする。袖裏は筒縫いをし縫目は片倒しとし、とじを入れる。（別図6参照）
袖付け	袖ぐりにテープを貼り、袖山に衿綿を付ける。袖裏はまつり縫い、又はミシン縫い付けとする。ミシン縫い付けの場合は袖山、袖下にとじを入れる。
肩 台	増芯と裏地の間にとじ付け、袖付け縫い代に緩みをもって付ける。
前身頃穴及び釦	上前身頃に、2個の鳩目穴をかがり、前端より12cm脇側に2個と上の釦より斜め上に1個、飾り釦を付ける。下前身頃に、上前身頃と同様に釦を付け、つり布の止め釦を衿下のところに付ける。

2 ズボン

（1）材料

区分	仕 様 (規 格)		用 途	
主材料	表地	別紙1	前身頃、後身頃、ウエスマン、天狗、前立、脇ポケット向布、尻ポケット口布、向布、ループ、靴づれ	
副材料	マーベルト		腰裏（スレーキ部は袋布と同じ）	
	ウエスマン芯		腰上部芯	
	袋地		脇ポケット、同右小ポケット、尻ポケット	
	不織布		前立、天狗、脇ポケット口	
	膝当		前身頃膝裏（生地幅80cm以上）	
	釦	練釦	径 15mm 上前マーベルト 1個 尻ポケット 1個	
	小附属	前カン ファスナー 片布 品質表示 サイズシール	ウエスマン 前立 上前マーベルト 片布の下端 片布の下端	
	縫い糸	ポリエステル (フィラメント) (パン)	50番 本縫い 8番 釦付け、(手付け用) 60番 オーバーロック 30番 まつり、穴かがり 30番 釦付け（機械付け用） 40番 釦付け（機械付け用） 50番 釦付け（機械付け用）	

(2) 構造の概要

ズボン（全般図参照）

(ア) 全般

ウエスマン付きワンタック、脇ポケットは、斜め切り替え、尻ポケットは、左右片玉縁、左は釦付き、前開きファスナー仕立て、ベルト通しは9本、裾口シングル。

(3) 条件

(ア) 針数（3cm間に表面に表れた糸数）

地縫い	15針	標準
ステッチ	15針	標準
オーバーロック	9針	標準
手まつり	10針	標準

(イ) ステッチ（飾りミシン）

脇ポケット口は0.6～0.7cmとする。

(ウ) 縫い代

1cm以上充分に取ること。但し、尻縫い上部は3cm以上

(エ) 穴かがり

穴の大きさは、釦に合わせてかがり、かがり糸が布から抜けないようにする。天狗鼻1個、尻ポケット左に1個とし、鳩目穴かんぬき止めとする。

(オ) かんぬき（機械かんぬき）

脇ポケット口両端、尻ポケット口両端、小股、天狗鼻

(カ) 釦付け

2本の糸で1つの穴に、2回以上通し、3回以上の根巻きをし糸止めを完全にする。機械付けの場合は、1回の糸量が手付けと同程度とし、糸調子を充分に調整して付けること。

(キ) オーバーロック

各裁ち目にはオーバーロックをかける。

(ク) 縫製

ミシンの糸調子を整え、つれ、たるみ、しわ、目飛びのないようにし又返し針を充分に行う。ステッチも縫い幅は一定に仕上げ、着用及び洗濯等に充分にたえるようにし、優美な仕立とする。

(ケ) 裁断

布目を正しく合わせ、型入れは、型紙どおりに行うものとする。

たて地のもの ウエスマン

一本の各裁断片に番号を付けて合わせる。裏地及び他の副資材も同様とする。

(コ) 仕上げ及び検品

糸屑、汚れ、混入物、寸法、外観等を入念に検査し、又丁寧にプレスをする。

(サ) 寸法

出来上がり寸法表のとおりとする。（別表2）

(4) 縫製

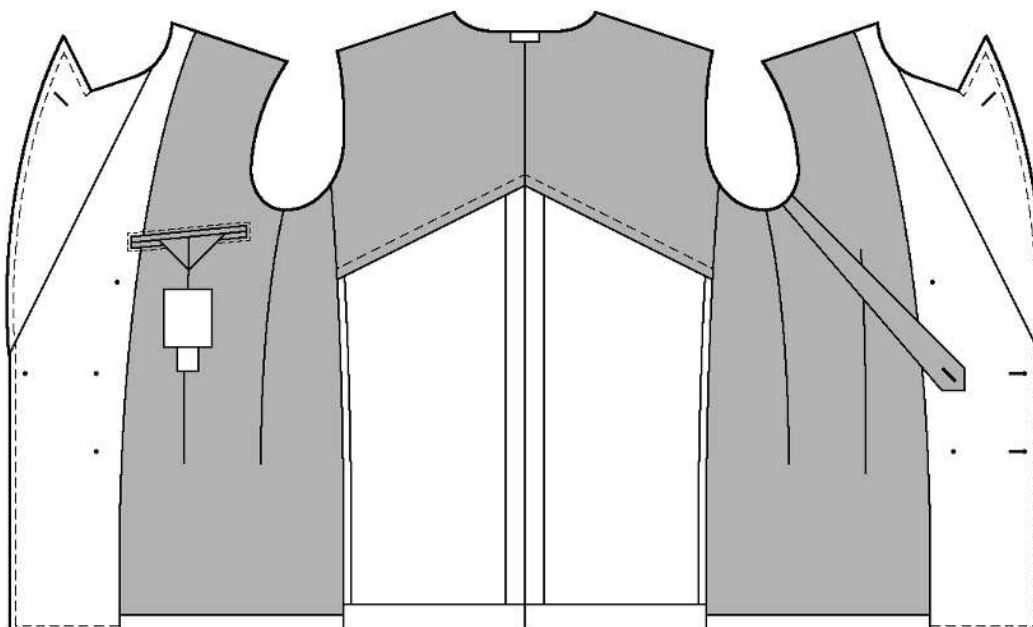
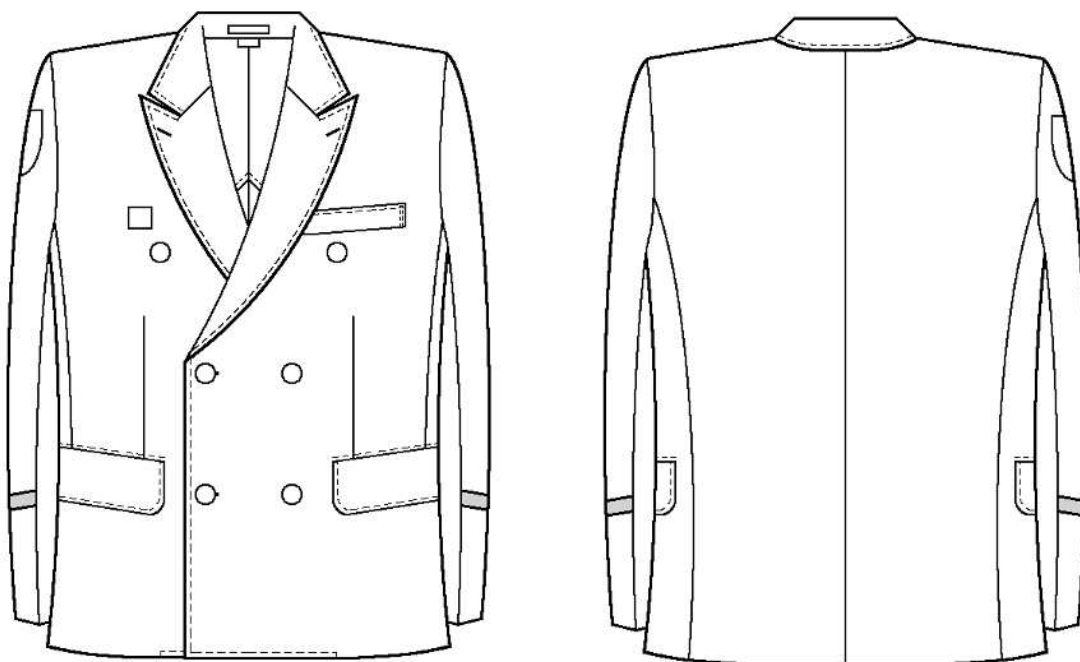
区 分	縫 製 要 領
前タック	左右に各1本、深さ2cmの外向きタックをとる。
後ダーツ	左右に各2本とる。
膝 当	前身頃腰上端より、膝下約10cmまで通し生地を付け、両脇は表生地と共にオーバーロックかがりをする。裾に耳を使用しないときは三巻き縫いをする。
脇ポケット	左右の脇縫目より前方3.5cmのウエスマン付けより2.5cm下がり、口長さ14.5cmの斜め切り替え式ポケットを付ける。袋の深さは、下止りより12cm、幅16cmとし右ポケット内部に、深さ6cmと11cm、幅9cmの斜め式の忍びポケットを縫い付ける。袋は地縫いと押えミシンの二重縫いとし、ポケット口に伸び止めテープを貼る。(別図1、2参照)
尻ポケット	後身頃左右に、上端から5cm下がって、口長さ14cm、深さ16cmの片玉縁ポケットを付ける。左ポケット口下中央に鳩目穴をかがり、左右口両端にかんぬきを入れる。袋は地縫いと押えミシンの二重縫いとする。
腰帯	腰は3.5cmの腰帯付きとし、両前身頃の腰帯にスライド式アジャスター金具を付け、腰帯後部には、アジャスターレール付け表地で包む。又、ウエスト上りサイズから、約±3cmの調節が出来る様にする。
天狗及び前立	芯を貼り、ファスナーを付け剣型鼻天狗とし、鳩目穴をかがる。天狗の上り幅は3.5cmとし、前立には幅3.5cm～3.7cmでミシン縫いをする。 (別図1、2参照)
ベルト通し (ループ)	幅0.8cm～1cm、長さ(使用部分)4.5cmのループ9本を上端より1cm下がりで袋縫いで付ける。(別図1参照)
脇縫い	上端から脇ポケット口下までは、30番糸又は50番糸の環縫い(チェーンステッチ縫い)とし、割る。
内股縫い	内股膝線まで二重縫い又は、環縫い(チェーンステッチ縫い)とし、割る。
小股縫い 尻縫い	小股は十文字縫いから4cmとし、尻縫いは、縫い割とし30番糸又は50番糸の環縫い(チェーンステッチ縫い)とし、尻上部縫い代は3cmとする。
シック	2.5cm巾の天狗からの続きシックとし縫い代に止める。
靴づれ	幅2cm、長さ16.5cm上りの表地の耳を使用し縫い付ける。耳を使用しないときは、裁ち目始末をする。
裾	裾の折り返しは幅7cm以上とルイスミシンで縫い付ける。
片 布	上前マーベルトに縫い付ける。(別図2参照)
品質表示	片布の下端に挟み縫いする。
サイズ表示	片布の下端に挟み縫いする。

別紙1

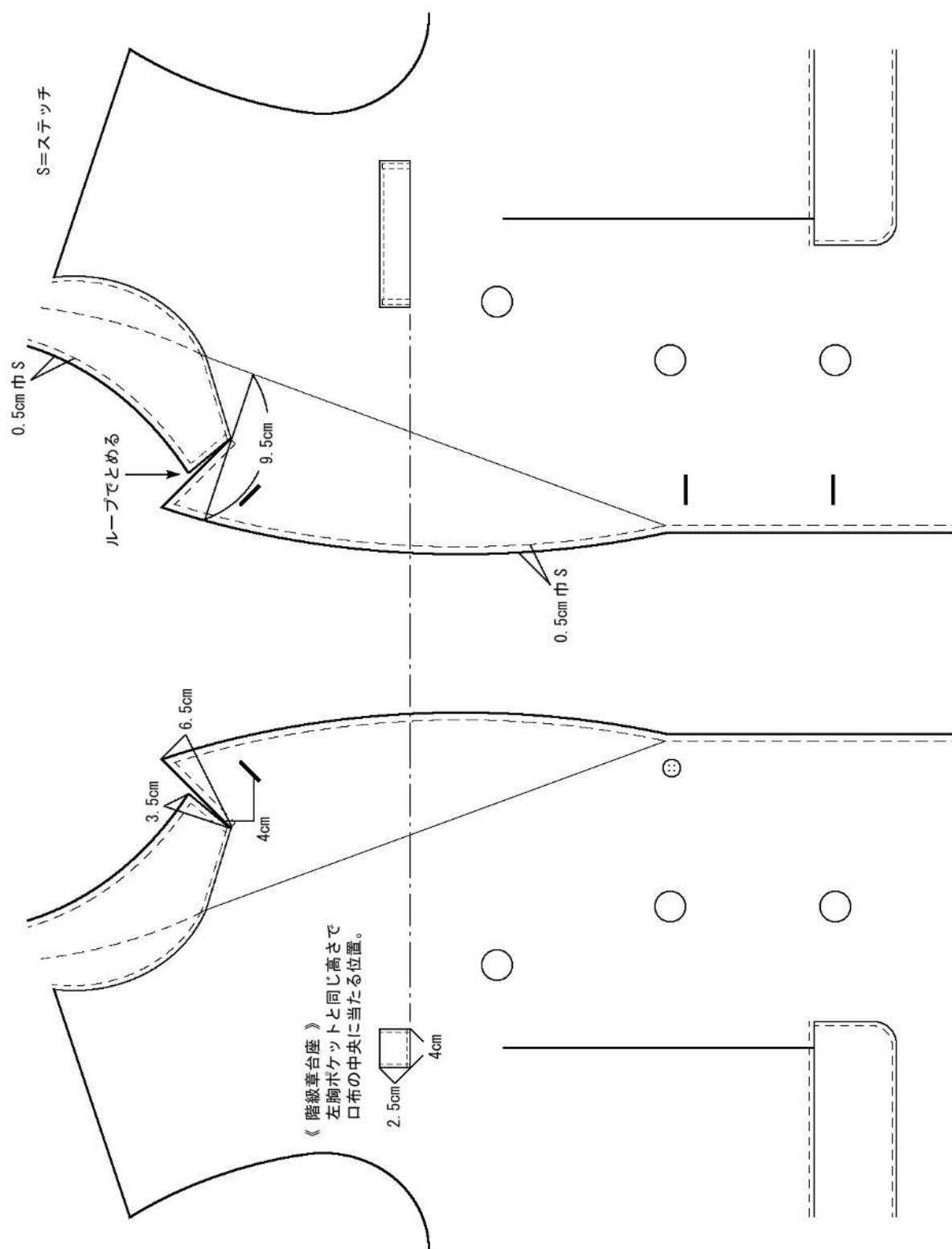
(表生地)

項 目		生地規格	試験方法
1	原料混紡率	毛 50% 再生ポリエステル 50% (PETボトルサイクル樹脂)	J I S L 1 0 3 0 正量混用率
2	番 手	(径) 2 / 4 4 (緯) 2 / 4 4	J I S L 1 0 9 6
3	品 名	エコロジアサージ (2 / 2 綾織)	J I S L 1 0 9 6
4	仕 上 幅 (耳共)	1. 5 2 5mm以上	J I S L 1 0 9 6
5	仕 上 重 量	2 6 0 g / m ² 以上	J I S L 1 0 9 6
6	仕上密度(10cm間)	(径) 2 8 4本以上 (緯) 2 4 4本以上	J I S L 1 0 9 6
7	収 縮 率	(径) 2%以下 (緯) 2%以下	J I S L 1 0 4 2 C法
8	色 相	濃紺 (指示見本とおりに)	
9 染色堅牢度	1) 汗試験 酸 アルカリ	4級以上 4級以上	J I S L 0 8 4 8
	2) 洗濯試験	4級以上	J I S L 0 8 4 4
	3) 摩擦試験	4級以上	J I S L 0 8 4 9
	4) 耐光試験	4級以上	J I S L 0 8 4 2 照射 40時間
10	強 力	(径) 9 8 k g 以上 (緯) 7 8 k g 以上	J I S L 1 0 9 6 A法
11	ピ リ ン グ	4級以上	J I S L 1 0 7 6 A法 (10H)
12	エコマーク 商品類型名 型 式	(財) 日本環境会認定のエコマーク商品であること 廃PET樹脂を使用した衣料品 事務服	

全般図

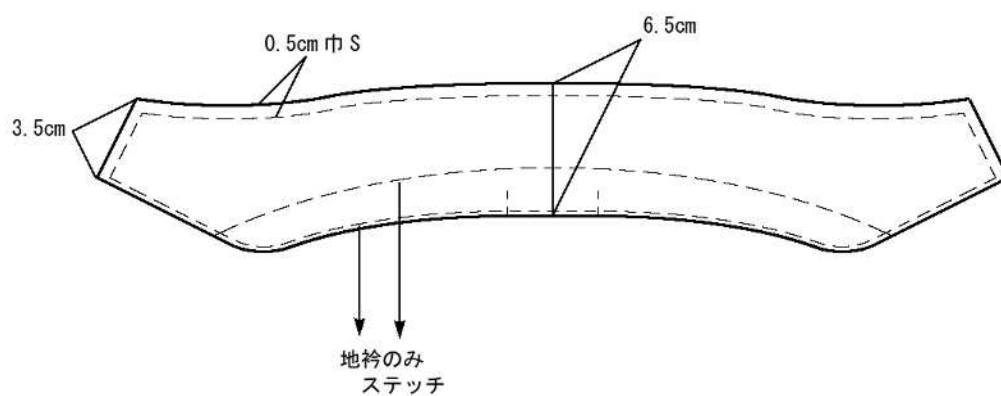


別 図 1



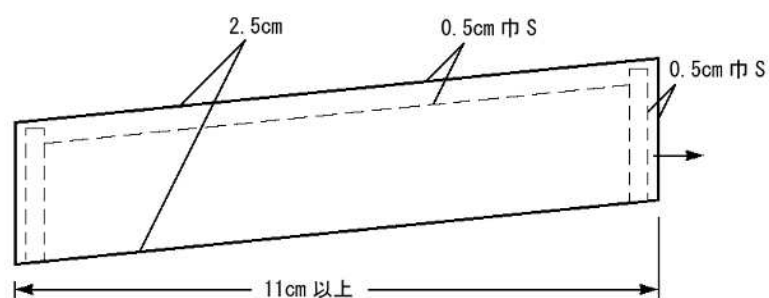
別 図 2

《 衿 》



別 図 3

《 胸ポケット 》



S＝ステッチ

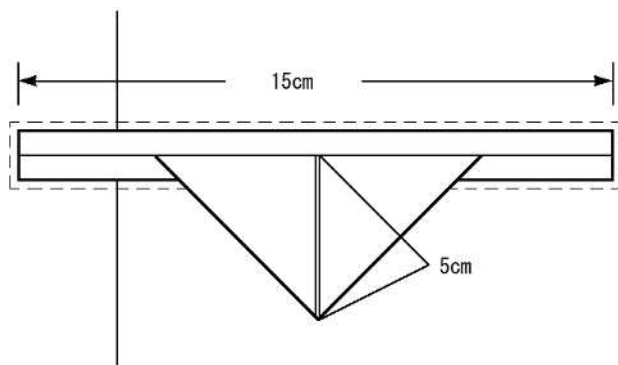
* 消防手帳が容易に納まること。

↓

(12cm×8.5cm×1.5cm)

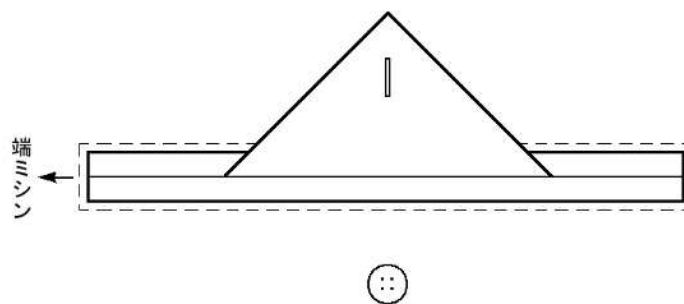
別 図 4

《 内ポケット 》



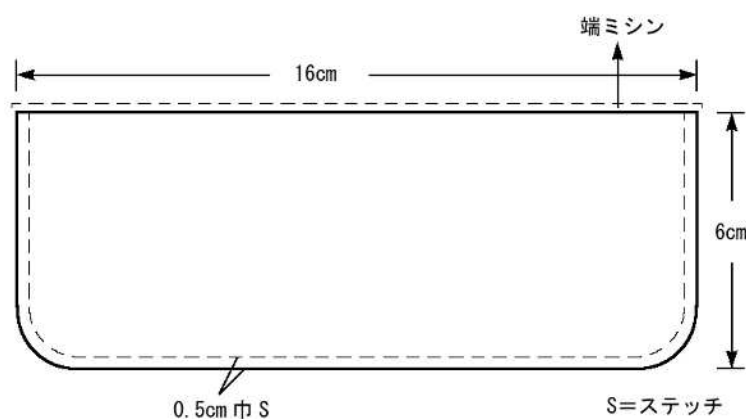
- ・ 両玉縁
- ・ 口布は裏地
- ・ 深さ 20cm
- ・ 右のみに付ける

《 雨蓋裏側 》



別 図 5

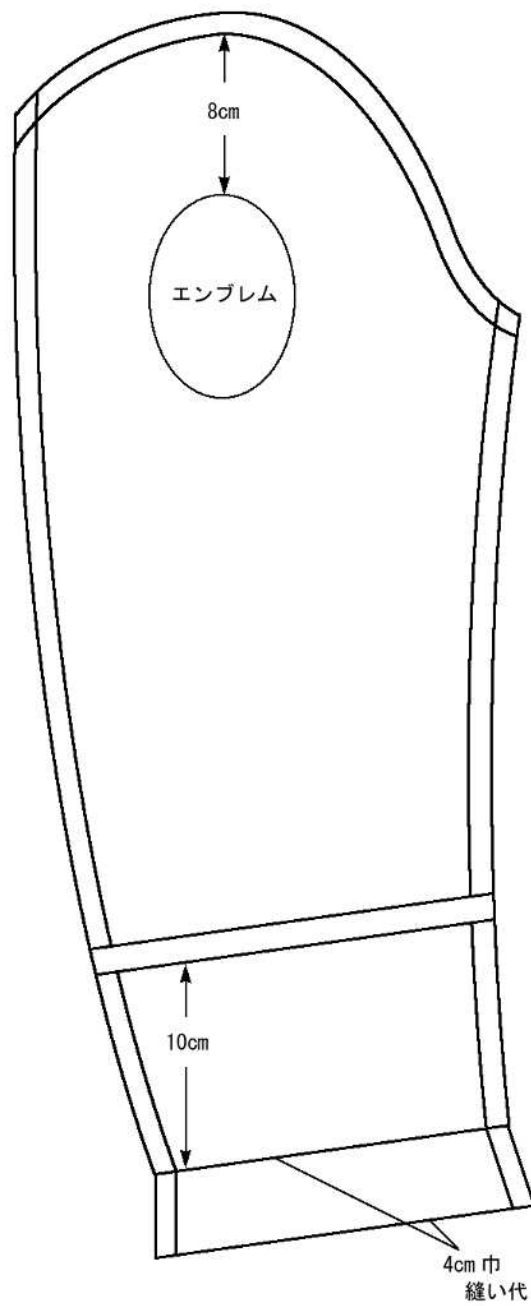
《 腰ポケット 》



- ・ 雨蓋裏は裏地
- ・ ポケット口長さ
 - 普通体・・・16cm
 - 中間体・・・16cm
 - 肥満体・・・16.5cm

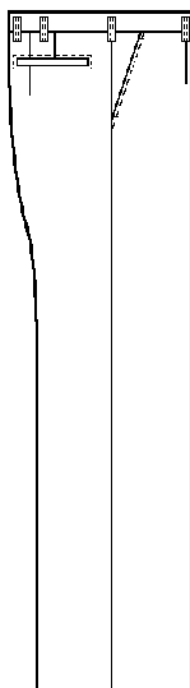
別 図 6

《 袖 》

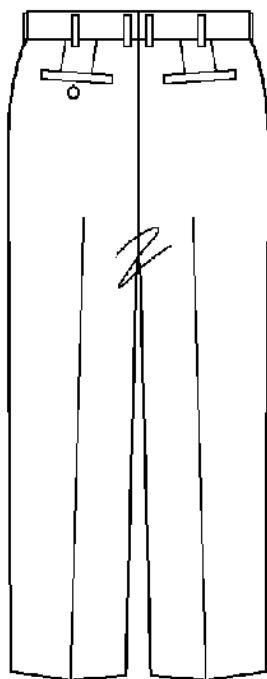


全 般 図

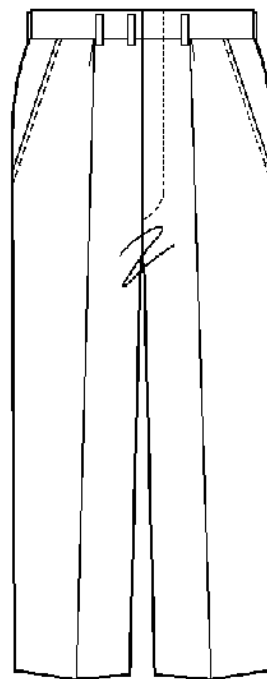
《脇》



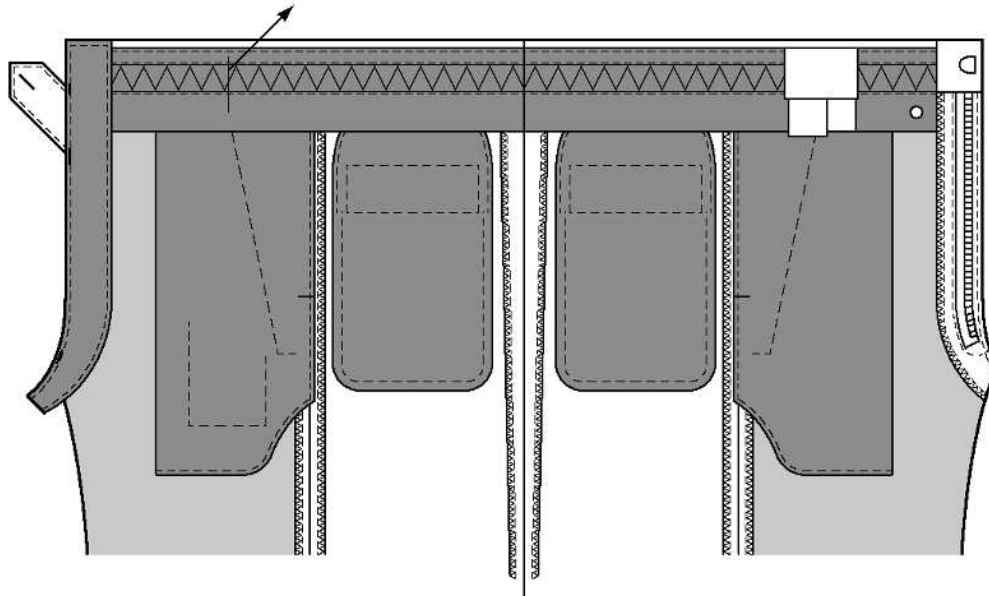
《後》



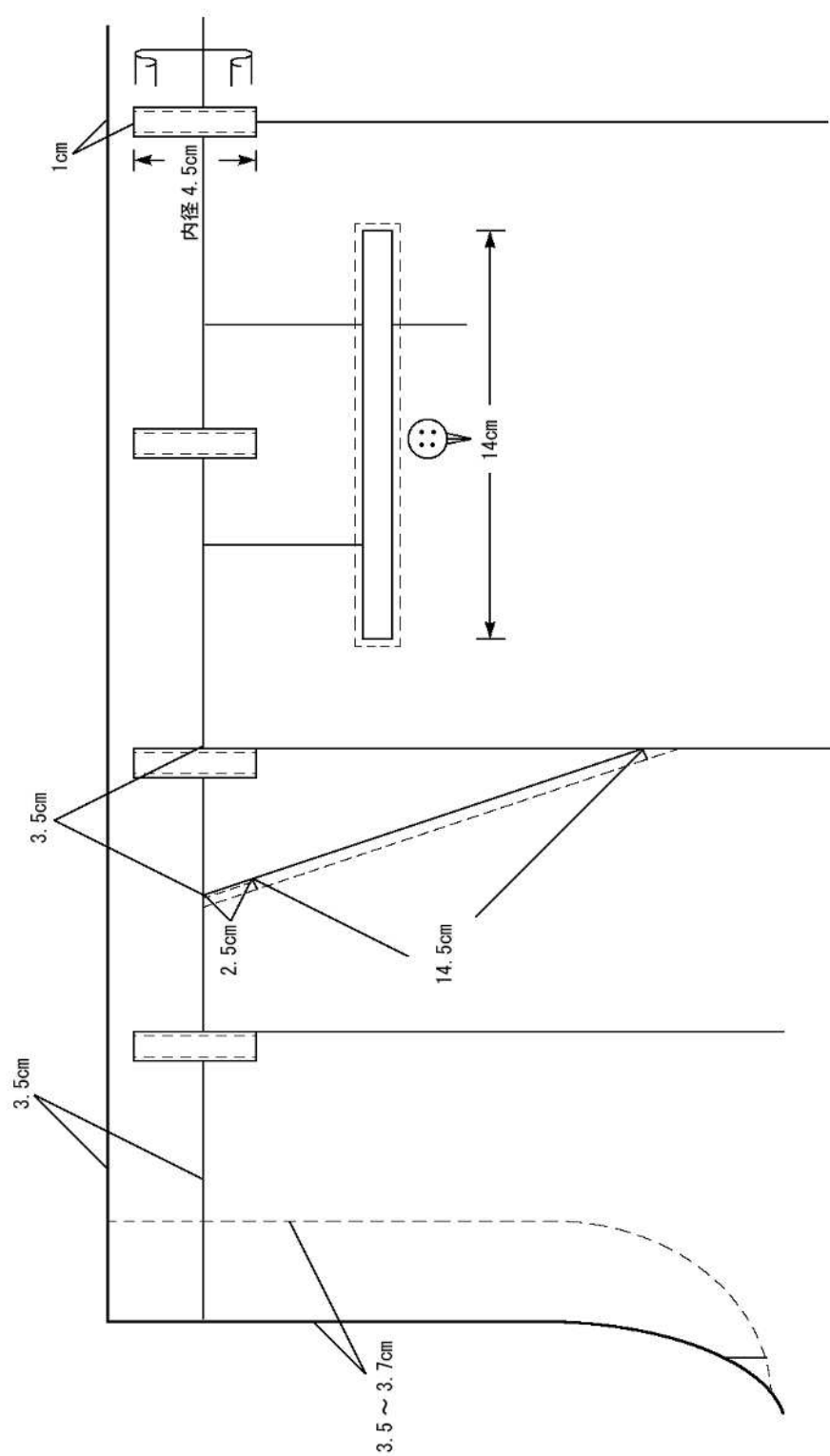
《前》



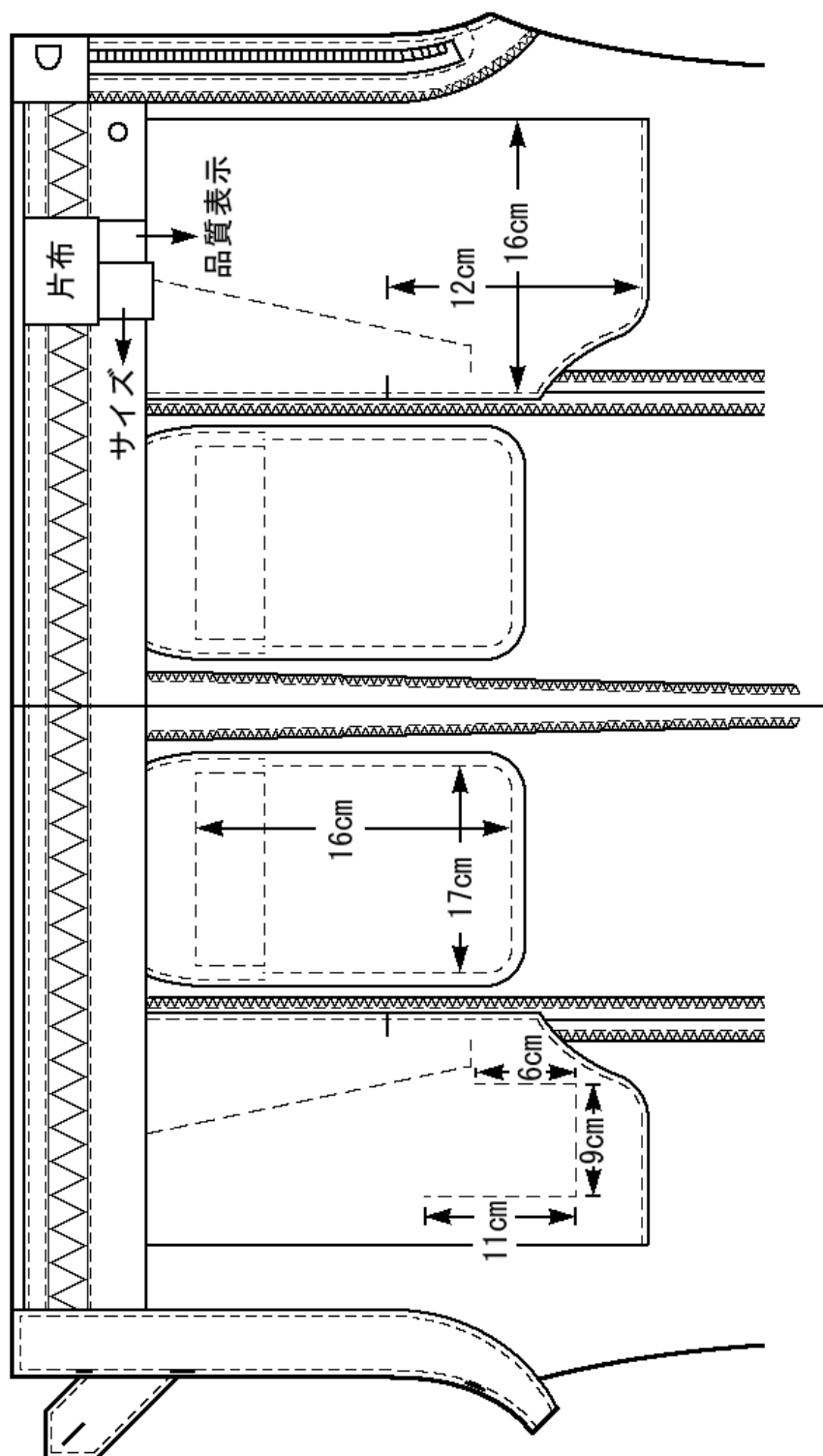
アジャスター付



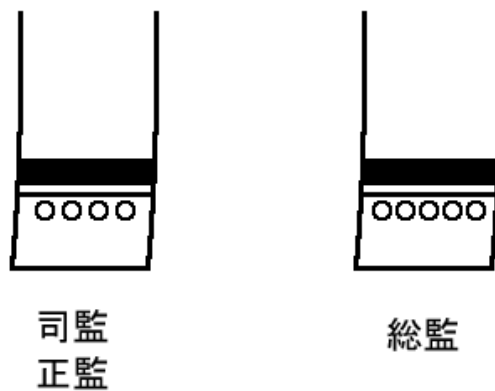
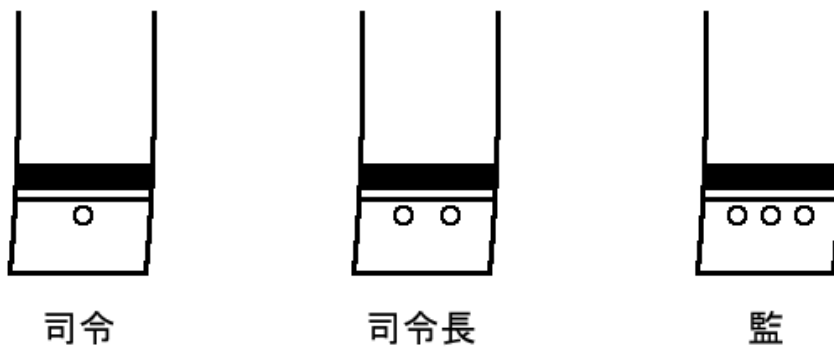
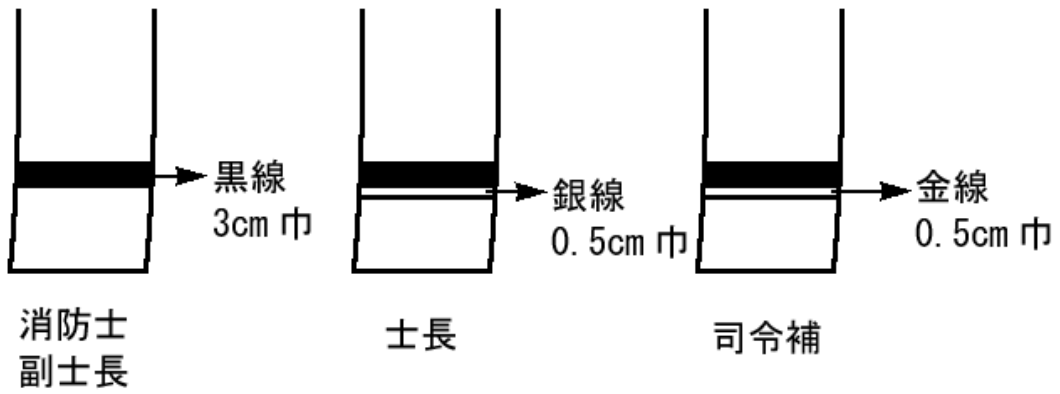
別 図 1



別 図 2



《 袖 章 》



消防職員上衣寸法表(別表1)

	サイズ	B 上り	肩巾	着丈	袖丈	参考寸法		
						ヌード B	総丈	背丈
普通体	A-2	101	44	67	52	83～	132	40
	3	104	45	69	54	86～	136	41
	4	107	46	71	56	89～	140	42
	5	110	47	73	58	92～	144	43
	6	113	48	75	60	95～	148	44
	7	116	49	77	62	98～	152	45
	8	119	50	79	64	101～	156	46
中間体	B-4	112	48	72	57	94～	142	42.5
	5	115	49	74	59	97～	146	43.5
	6	118	50	76	61	100～	150	44.5
	7	121	51	78	63	103～	154	45.5
	8	124	52	80	65	106～	158	46.5
肥満体	0-3	123	52	71	56	105～	140	42
	4	126	53	73	58	108～	144	43
	5	129	54	75	60	111～	148	44
	6	132	55	77	62	114～	152	45
	7	135	56	79	64	117～	156	46
	8	138	57	81	66	120～	160	47
	9	141	58	83	68	123～	164	48

B＝バストの略

消防職員ズボン寸法表(別表2)

ウエスト	ヒップ	股上
70.0	95.0	25.0
73.0	98.0	25.0
76.0	101.0	26.0
79.0	104.0	26.0
82.0	107.0	27.0
85.0	110.0	27.0
88.0	113.0	27.0
91.0	116.0	28.0
94.0	119.0	28.0
97.0	120.0	28.0
100.0	123.0	29.0
103.0	126.0	29.0

女子消防職員用冬服仕様書

1 使用表地規格

冬服上衣、ズボン

- ・ 品 番 日本毛織<EC500H> エコロジアサージ(2/2綾織)
- ・ 混紡率 毛50%/再生ポリエステル50%
- ・ 色 相 #E紺H 又は、同等品

*回収識別マークを付け、着用後、局の指示に従いすみやかに回収し、その後は二次製品として再利用すること。

項 目		生地規格	試験方法
1 原材料混紡率		毛 50% 再生ポリエステル 50% (PET ボトルリサイクル樹脂)	JIS L 1030 正量混用率
2 番 手		(径) 2/44 (緯) 2/44	JIS L 1096
3 品 名		エコロジアサージ(2/2綾織)	JIS L 1096
4 仕上幅(耳共)		1. 525mm以上	JIS L 1096
5 仕上重量		260g/m ² 以上	JIS L 1096
6 仕上密度(10cm間)		(径) 284本以上 (緯) 244本以上	JIS L 1096
7 収縮率		(径) 2%以下 (緯) 2%以下	JIS L 1042 C法
8 色 相		濃紺(指示見本とおり)	
9 染色堅牢度	1)汗試験 酸 アルカリ	4級以上 4級以上	JIS L 0848
	2)洗濯試験	4級以上	JIS L 0844
	3)摩擦試験	4級以上	JIS L 0849
	4)耐光試験	4級以上	JIS L 0842 照射40時間
10 強 力		(径) 98kg以上 (緯) 78kg以上	JIS L 1096 A法
11 ピリング		4級以上	JIS L 1076 A法 (10H)
12 商品類型名 型式		(財)日本環境会認定のエコマークであること 廃 PET 樹脂を使用した衣料品 事務服	

2 上衣

区 分	縫 製 要 領
衿及び衿付け	裏衿は中心を縫い割り、衿芯を貼り、折り返し線にミシン縫いをする。芯は、バイアスで取り、表衿と表衿両端部に芯を貼る。裏衿と合わせて縫い返し、裏衿は地縫いし、表衿は見返しと合わせてミシン縫いとする。上衿巾中央で6cm、衿先巾3.5cm、衿腰巾2.5cmとする。
返し止め縫い	衿付部から第1ボタン及び第1穴横まで星止め縫いを入れる。
ステッチ	上衿、返り衿、フロント、胸、腰ポケットに巾6mmのステッチを入れる。
裏	総裏仕立、背中心を地縫いし、1cmのきせをかける。
見返し	衿付から裾まで継目なし、見返しは第1ボタン位置で13cm裾で13cm以上とする。
芯	前身頃、前脇身頃、見返し、裏衿、表衿先、腰ポケットに貼る。
胸ポケット	口布長さ10cm、深さ12cm、箱巾2cmとする。
腰ポケット	フラップポケット、左右に口長さ14cm(11号標準)、深さ18cmの両玉縁のポケットを作り、フラップを付ける。
ダーツ	胸、脇に各1本、裏も同様、表ダーツは縫い割り、裏ダーツは片倒しとする。
肩縫い	表地は縫い割り、裏地は片倒しとする。肩台を入れる。
袖付け	袖ぐりにテープを貼り、袖山に衿綿を付ける。袖裏はミシン縫い付けとし、袖山、袖下にとじを入れる。
袖	袖口の折り返しに芯を貼り、袖章を左右の山袖に袖口より平行に10cmの位置を袖章の下端として付ける。エンブレムは左袖の山より8cm下の位置をエンブレムの上端として縫い付ける。
裾	表地の折り返しは4cmとし、裏地はきせをかける。
背及び脇縫い	割り縫いとする。
階級章取付位置	右胸の指定する位置に縦2.5cm、横4cmの階級章用台座を縫い付ける。
ボタンホール	鳩目機械穴とする。
衿吊り	衿腰中央に付ける。

3 ズボン

区 分	縫 製 要 領
前タック	左右各2本を外向きに付ける、深さは1.75cmとする。
ウエストベルト	インサイドベルトを入れ、帯巾3.5cm仕上がり寸法とする。
ループ (バンド通し)	上端より1cm、長さ4cmのループ5本を付ける。
脇ポケット	左右脇縫い目より前方4cmのベルト付けより口長さ16cmの斜め切替え式ポケットを付ける。深さ上門より27cm、袋布14cmとし向当布を内外に付け、口端に門止めをする。
相引内股 しりぐり	裁目はオーバーロック、しりぐり内股はミシン2回地縫いし、特にしりぐりは糸切りを防ぐため、伸ばして地縫いする。
天狗前立	天狗に芯地を入れる、前かんファスナー付。
棒シック	袋地使用、尻縫目に長さ10cm、巾2cmのものを付ける。
裾	折り返し巾は4cm以上とする。
穴かがり	機械穴、鳩目穴とする。

女性消防職員用冬服寸法表

上衣	バスト	肩巾	着丈	袖丈
7 号	97	40	64	53
9 号	100	41	64	53
11 号	103	42	65	54
13 号	106	43	65	54
15 号	110	44	66	55
17 号	114	45	66	55
19 号	118	45.5	67	56
21 号	122	46	67	56

ズボン	ウエスト	ヒップ	パンツ丈
7 号	60	100	99
9 号	63	102	99
11 号	66	104	100
13 号	69	106	100
15 号	72	108	100
17 号	75	111	100
19 号	79	114	101
21 号	83	118	101

※パンツ丈は、ベルト下からの寸法

男性消防職員用制帽仕様書

1 材料

名 称	仕 様 (規 格)	用 途
表地	NK. E S 5 5 0 8 (エコ ソロフォードギャバ)	天井、まち、腰
徽章	ネジ式、台地 黒 フェルト (別図1のとおり)	
腰枠	発泡ポリエチレン板 厚さ1. 3mm 黒色 通気穴なし	
底	表 ビニールシート 黒色 艶あり 裏 発泡ポリエチレン 黒色 しぼ付き 縁 ビニールシート 黒色 1本縁縫い	
あご紐	発泡ポリエチレン ビニールシート張り 黒色 艶あり「ち」は剣付き 幅12mm	
すべり	幅48mm 黒色デラクール 穴あき	汗止め
蛇腹	斜紋地ジャガード織り 30m/m幅 織糸 タテ糸 ポリエステル糸黒糸セミダブル100d ヨコ糸 ポリエステル糸黒糸セミダブル300d	腰、周章
耳章	官、ネジ式	
張り出し芯	硬質ポリエチレン 丸 蛇腹型 二本一組 紺色 二本の接続は、一方からの差込式 高い方の直径15mm 低い方は12mm 差込口の直径10mm 山の中心から山の中心までは4mm間隔	天井の整形
前立ばね	ポリエチレン成型 紺色	前まちの成形
裏天井	クリア (ネームポケット付き) チュールに縫い付ける	裏天井汗止め
ハトメ	真鍮製 黒色 #200	滑りの重ね止め
カード	上質模造紙	
縫い糸	本縫い用ポリエステル糸 底付け 50番 すべり付け 30番	

2 形状

別図2のとおり

3 条件

(1) 針数（3cm間に表面に表れた糸数）

ア ミシン縫い 13針以上

イ 庇付け 8針以上

ウ すべり付け 8針以上

(2) 裁断及び縫製

ア 天井、まち、腰に色違いの無いよう注意すること。

イ 縫い始め、縫い終わり箇所は返し縫いすること。

ウ 飾り縫いは縫い目から約2mm幅に施すこと。

エ 縫い代 5mm

4 縫製

区 分	縫 製 要 領
まち縫い	まちは前面2枚、後面2枚を縫い合わせ、縫い目は片側に倒し飾りミシン縫いをする。
腰布	腰布の下部に玉縁を作り、両端を縫い合わせ輪状とする。
天井と まち付け	天井とまちを縫い合わせ、縫い目は天井側に倒して飾りミシン縫いをする。
まちと 腰布付け	まちの下部と腰の上部を縫い合わせ、腰の縫い目を後方とする。
腰枠 こしらえ	腰枠を輪状にし、前立てバネを付ける。
庇及び すべり付け	腰枠を腰布内部に入れ、腰布下部を内側へ折り返してミシン付けをする。 前面中央に庇を付け、内側にすべりを縫い付け、後部重ね目はハトメで止める。
蛇腹	腰に周章を巻く。
あご紐	前方腰の左右に、耳章であご紐を止める。
徽章	前面中央に帽子徽章取り付け用ハトメを打つ。

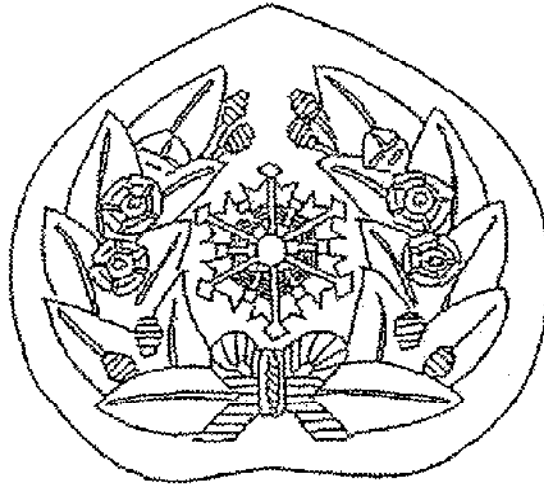
5 寸法

(単位 : cm)

頭周り	天井 縦	天井 横	前まち幅	後まち幅	腰幅
63	29.5	28.5	5.5	4.0	5.0
62	29.5	28.5			
61	28.5	27.5			
60	28.5	27.5			
59	28.0	27.0			
58	27.5	26.5			
57	27.0	26.0			
56	26.5	25.5			
55	26.0	25.0			
54	25.5	24.5			
53	25.5	24.5			
許容差	±0.2	±0.2	±0.2	±0.2	±0.2

帽子き章 概要図

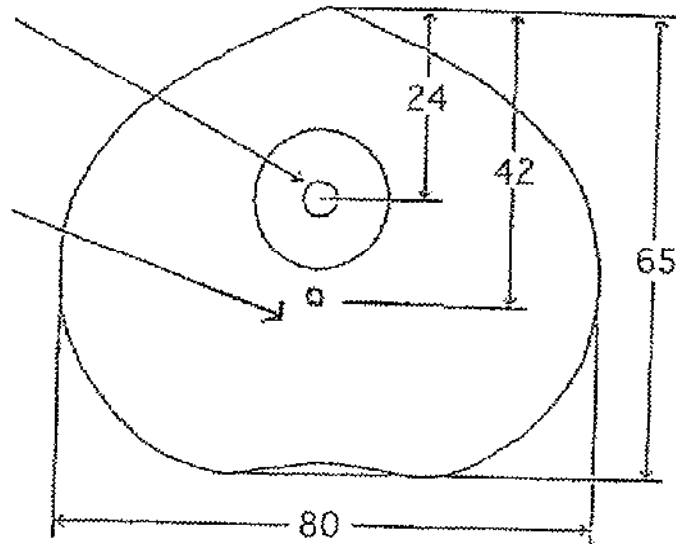
別図 1



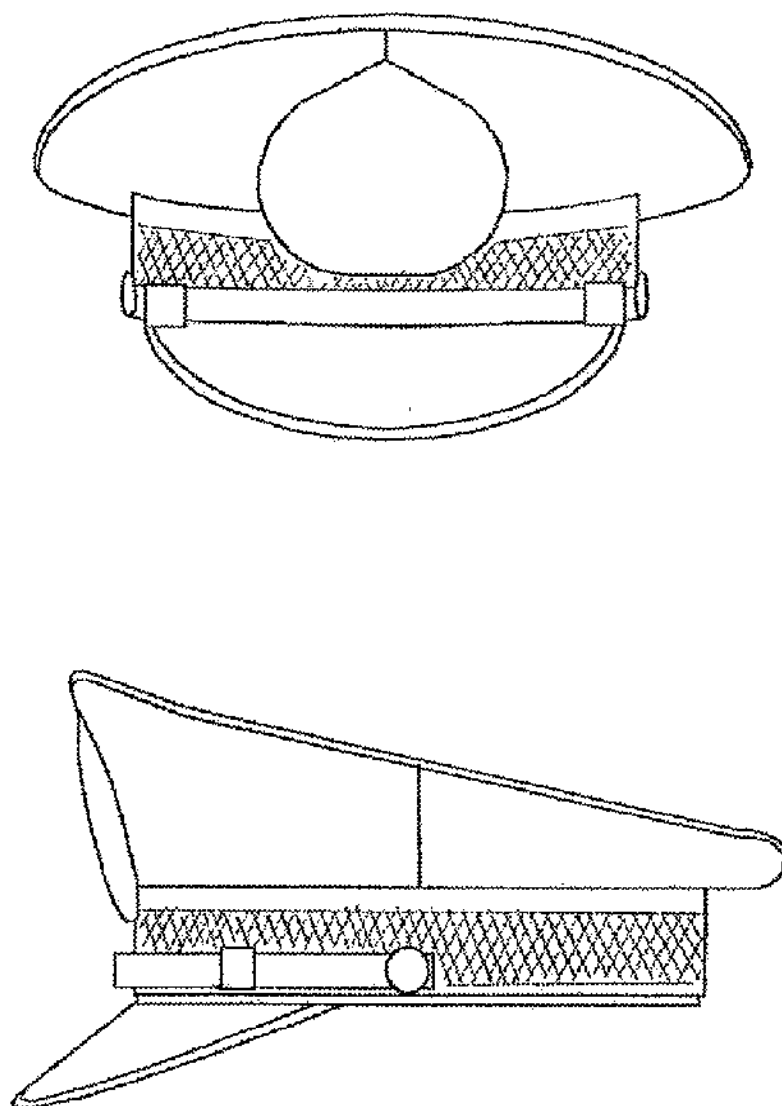
〔 単位 mm 〕
〔 許容量 ±2 mm 〕

ネジは裏側を
カシメ取付と
し、ろう付け
する。

フレ止め



別図 2



女性消防職員用制帽仕様書

1 材料

区 分	名 称	仕 様 (規 格)	用 途
主材料	表地	NK. E S 5 5 0 8 (エコ ソロフオードギヤバ)	天井、まち、腰
副材料	裏生地	レーヨン 絹子 100% 経 75デニール 緯 120デニール 黒色	頭 (クラウン)、裏
	頭芯地	ケンマ草手編帽体 撥水及び樹脂加工	頭内
	つば芯地	不織布ポリエステル 100% 厚さ 約1mm	丸つば内
	リボン	レーヨン、グログラン織 幅 39mm (許容差±2mm) 黒色	飾り
	すべり	表：ポリエステル 幅 30mm (許容差±2mm)	頭内汗止め
		裏：不織布 幅 30mm (許容差±2mm)	
	櫛	金属 黒色 幅 約28mm 全体長 約29mm 足長 約27mm	左右各1個 髪留め
	あご紐	丸ゴム 長さ 約35cm 黒色	
	縫い糸	エステルспан 50番	本縫い
	帽章	提示見本のとおり	前中央止め
	片布	アセテート	右中央

2 形状

ハイバック型丸帽子 (別図のとおり)

3 条件

(1) 針数 (3cm間に表面に表れた糸数)

ア ミシン縫い つば 約8本

イ 頭（本縫い） 約12本

(2) 裁断及び縫製

ア クラウン及び丸つば、まちに色違いの無いように注意すること。

イ 飾り縫いは縫い目から約2mm幅に施すこと。

ウ 縫い代 4.5mm

4 縫製

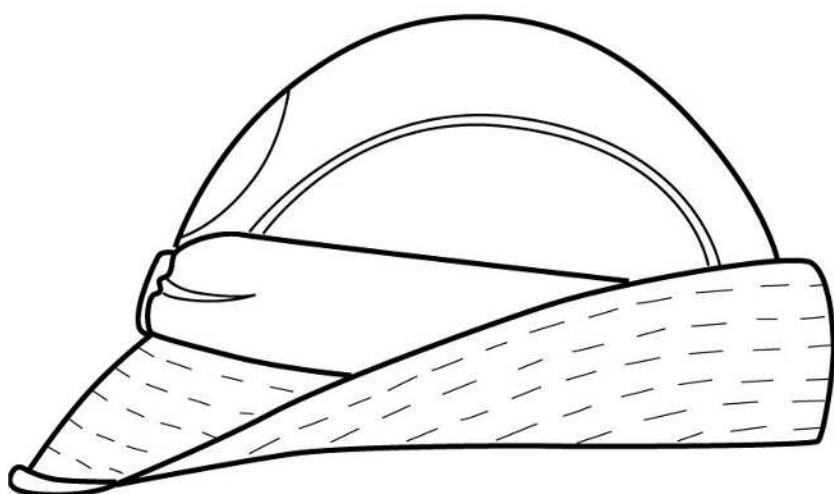
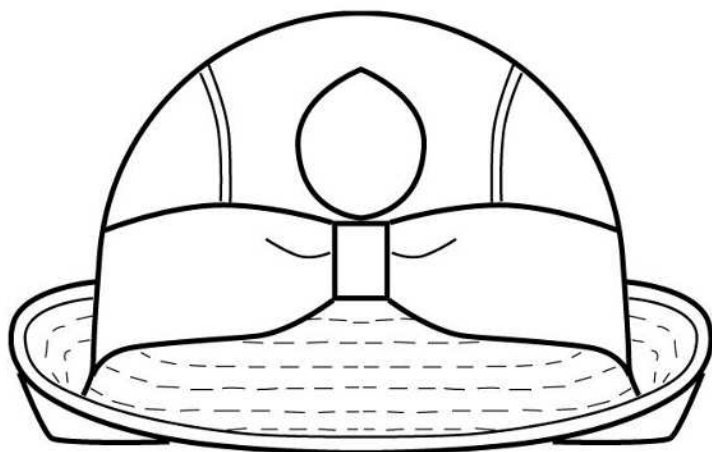
区 分	縫 製 要 領
頭	芯地を撥水及び樹脂加工の後、頭の形に成形、表生地裁断、縫製の後芯地にかぶせ裾を布テープで巻く。
つば	表地（不織布の芯地と密着したもの）を裁断縫製。
まとめ	上記頭と丸つばを縫い合わせる。
すべり及び あごゴム紐	すべりは内側頭周りにミシンで縫い付ける。ゴム紐を櫛の根元後部に取り付ける。
リボン	下端をつば元に密着し前面中央にリボン飾りを付ける。
櫛	内側頭周りの左右中央に取り付ける。
前章	前章の中央下端がリボン飾りの上端と接する位置に取り付ける。
片布	片布の下部を1cm縫い代分だけ長くし、すべり上端の裏側に縫い付ける。

5 寸法

(単位：cm)

号型	頭周り (内寸)	頭高さ (内寸)	高さ (外寸)	縦 (外寸)	横 (外寸)	前つば幅	後つば幅
特大	60	11.3	13.3	25.0	21.5	5.7	6.0
大	58	11.0	13.0				
中	57	11.0	13.0				
小	55	10.7	12.7				
許容差	±0.3	±0.3	±0.3	±0.3	±0.3	±0.3	±0.3

別図



消防職員用ネクタイ仕様書

1 生地規格

- (1)品 名 ジンメ織り #624 C／＃42 ウォッシュャブル
- (2)素 材 経糸 ポリエステル 100%
緯糸 ポリエステル 100%
- (3)糸 番 手 緯糸 135d
縦糸 50／単
- (4)密 度 緯糸 185本
縦糸 360本
- (5)組 織 平織り
- (6)収 縮 率 2%以下
- (7)染色堅牢度 生地4級以上
- (8)色 相 濃紺

2 芯地規格

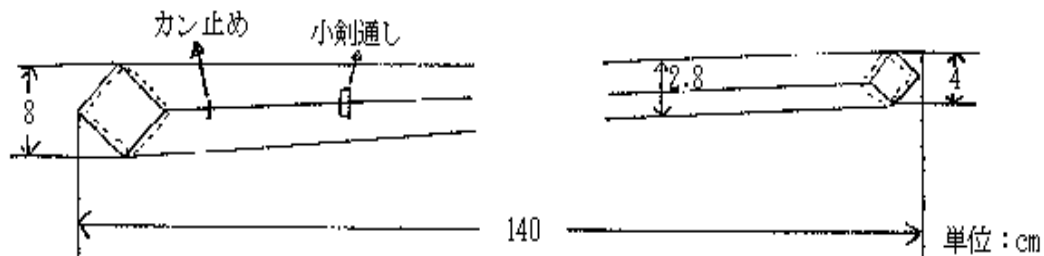
- (1)品 名 ポリエステル芯
- (2)素 材 縦 ポリエステル 100%
緯 ポリエステル 100%
- (3)打 ち 込 み 24×24
- (4)糸 番 手 10番×10番

3 裏地規格

- (1)品 名 T-70(デトロンタフタ)
- (2)素 材 ポリエステル 100%

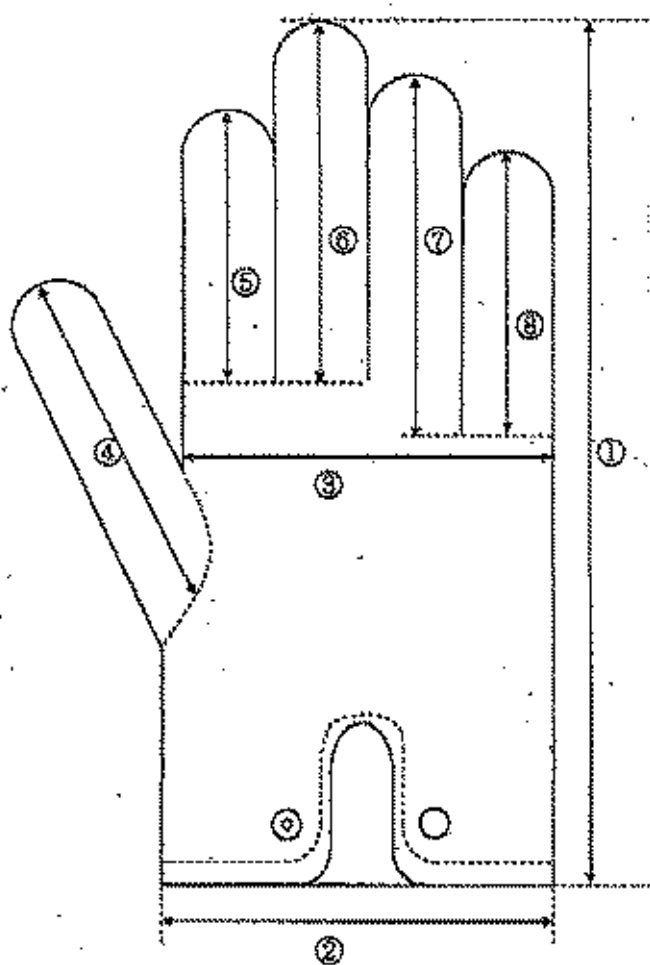
4 縫製

- (1)形 式 正バイヤス 三ツハギ 長ネクタイとし本裏付けとする
- (2)裁 断 表地及び芯地共正バイヤスとする
- (3)形 状 下図のとおり



消防職員用儀式用白手袋仕様書

- 1 品名 ナイロンW 巻べり
- 2 品名 N100
- 3 材質 東レ40Dナイロンダブルトリコット
- 4 形状 マチ付 丸指 巻べり ホック付



	M	L	LL
①	21.5	23.0	24.5
②			
③	8.2	9.0	9.3
④	11.0	12.0	12.7
⑤	7.1	7.9	8.2
⑥	8.1	8.5	8.9
⑦	8.1	8.4	8.9
⑧	5.8	6.2	6.8

許容差 ±0.5mm

消 防 職 員 用 制 服 バ ン ド 仕 様 書

浜 松 市

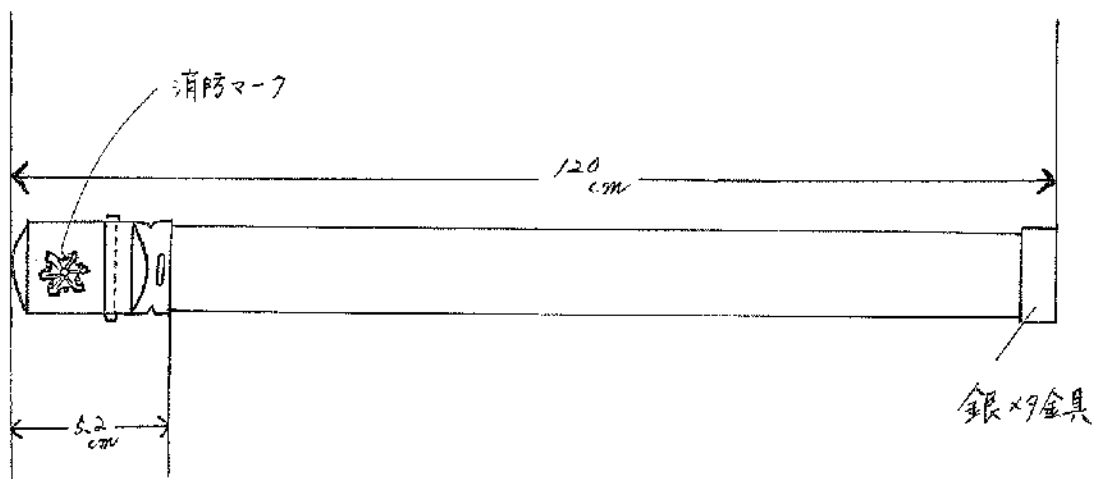
第1 総則

この仕様書は、浜松市において購入する消防職員用制服バンド（以下「バンド」という。）について定める。このバンドに使用する材料は、全般にわたって十分検査が実施され、この仕様書のすべてを満たすものでなければならない。

第2 仕様

- 1 規格 消防マーク入り銀メタバックル式ナイロンバンド
- 2 生地 ナイロン 100%
- 3 色相 鉄、紺
- 4 製式 別図のとおり

【図】



第3 補則

- 1 仕様及びその他細部について、必要のあるときまたは疑問が生じた時は、速やかに市及び消防総務課へ連絡し指示を受けること。ただし、内容については、消防総務課の解釈による。
- 2 仕様に明記、または指示がなくても、縫製作業などにおいて、当然必要なことは良心的に行うこと。
- 3 受注者は、必ず縫製作業中、半製品の検査及び指示を充分に行い、仕様書に適合するように努めること。
- 4 この外、契約に関わる事項については、当市の定める規定事項による。

あて先

浜松市長 様

見積者 住所又は
所在地
氏名又は
名称
連絡先(TEL)

見積明細書

・2種以上の品目の見積には内訳金額が分かるよう、必ずこちらを作成してください。
・見積明細書と同等品提案票は落札候補者のみ、開札後、紙で調達課へ提出となります。
・下記金額には消費税は含まれません。

契約No.	2025008456	件名	消防職員用被服(冬服一式)の購入について
-------	------------	----	----------------------

同等品の提案	☒ 有 ☐ 無
--------	--

	品名	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)
1	衣料品類	男性職員用冬服上衣	着	11		
2	衣料品類	男性職員用冬服ズボン	本	13		
3	衣料品類	女性職員用冬服上衣	着	1		
4	衣料品類	女性職員用冬服ズボン	本	1		
5	衣料品類	男性職員用制帽	個	26		
6	衣料品類	女性職員用制帽	個	1		
7	衣料品類	消防職員用ネクタイ	本	49		
8	衣料品類	消防職員用儀式用白手袋	双	132		
9	衣料品類	消防職員用制服用バンド	本	99		
合計						

*単価と合計金額を記入してください。
*一度添付した見積明細書は、訂正、撤回は出来ませんのでご注意ください。